

# 中材業務を省みて

— 受付業務を中心として —

中央材料部 発表者 手塚 菊江

伊藤 和子・平林 勝江・細野 麗・武居 寿賀子

## 1. はじめに

現代医学の多様化は、検査処置を増加させ、その内容も複雑にさせている。

当中央材料部（以下中材部とする）ではより適確な援助をと思いながらできる範囲での改善を重ねてきた。業務の見直をはかるため再度検討をこころみた。

## 2. 目的、期間、方法

各科への物品供給がよりスムーズに行なわれ、滅菌物等が正しく、便利に、使用されるよう、中央部門としての使命を効果的にする。昭和47年より現在の中材記録及び日報により、数的な業務内容を把握し、各科からのアンケートにより問題点をさぐり分析する。

## 3. 物品使用状況

### 1) 年度別医療機器長期貸出数

項目 \ 年度	47	48	49	50	51	52	53	54
酸素テント	92	116	94	74	99	103	121	143
低圧持続吸引器	171	137	102	103	83	87	87	103

### 2) 年度別注射器及びトレイ貸出数

・図1, 2による（昭和47年度を100%として算出）

・注射器については51, 52, 53年と減少しているのは各病棟、外来とも真空採血管を多く採用、乾燥注射器使用が減じたためである。53, 54年現在はディスポ製品も加わり、やや増加の状態である。

・トレイについては特に51年度は科の増設と内容改善にともない増加している。

### 3) その他

単品包装物品は徐々に増加、ディスポ製品は種類、数とも増加の傾向をたどっている。

## 4. 業務状況比較

備品数及び常備器材品目

	種 別	個 数		
		47年5月	55年6月	
滅	高圧蒸気滅菌器	2台	2台	1日回転数 (47年2~3回) (55年8~9回)
	乾熱滅菌器	1	1	

函器	煮沸消毒器 ガス滅菌器	1 0	1 2	自動式ガス滅菌器は中手と共用
洗浄器	超音波洗浄器	0	1	作動時間 1日5時間30分 25ケース洗浄
長期貸出医療機器	酸素テント 酸素濃度計 酸素吸入セット 酸素ポンベ (500・1500・6000ℓ) 2・20・10本 人工保育器 低圧持続吸引器 吸引器 蒸気吸入器 持続動注器 注射器 1～100 ml	4 0 2 32 1 20 1 7 2 1800本	10 3 5 35 3 25 1 8 2 2300本	検査用として 500 ℓ 増加          0.25～100 ml
貸出トレイ	検査処置用セット	23種 117個	30種 343個	新設セット 選択的動脈撮影 脊髄造影 硬膜外麻酔 脳外用創口 アトム点滴セット 300 ml アトム三方活栓付点滴セット 200 ml 大量栄養注入セット ・創口を除き全トレイにガーゼ挿入済み
単品包装	メス (円・尖刃刀) 剪刀 (直・曲剪刀, 中・小) 鑷子 (有・無鉤, 中・小) 鉗子 (有・無鉤, 中・小) 穿刺針 シルバーマン針, 美甘針 トラカル針, 後頭窩針 骨髄針 (佐藤式, 小宮式) 気胸針 木村式ルンバール針 気管カニューレ 1～10号 鼻腔ゾンデ (太・中・細) ネラトンカテーテル 3～6号	40種	49種	新規採用品 血管用持針器 二方活栓 三方活栓 モスキート鉗子 (有・無鉤 5本入) カフ付カニューレ 32・34 FG 洗面器 手洗刷毛
リンネ	リンネ類	各種	各種	新設包装品 手術衣 1枚包 リンネ一式

衛生材料				包布特大1・大3 手術衣2
	衛生材料			綿球50φ 25・20・14mm
デ イ ス ポ 製 品	注射器 ツ反・血沈・5・10・20・50ml	6種	27種	新規採用品
	注射針18~27G 翼付チューブ針18~23G 静脈留置針V1. 2. 3. 5 静脈カテーテル4. 5. 6 FG 静脈栄養カテーテル 4. 5 FG			エラスター針18, 19, 21, 23G スパイナル針21, 23G 吸引カテーテル8, 9, 14FG 鼻腔酸素カニューレ カフ付気管内チューブ20~34FG カフ付気管切開チューブ24~36FG エックステンションチューブX-1~4 胃管カテーテル12~18FG 持続硬膜外カテーテル フォーリーカテーテル(ゴム 14-24FG シリコン8-24FG) メス(円・尖刃刀) 三方活栓 三方活栓付延長チューブ IVHセット(中心静脈留置カテーテル) CVPセット(中心静脈圧測定セット) 舌圧子(木製) 縫合絹糸2~6号 マスク 手袋(ゴム 6. 6.5 7. 7.5 プラスチック 7. 7.5) メッキンガウン LL ポリタオル(ブレン大, 小 穴あき 大, 小)

## 5. アンケートによる問題点の抽出

年々、改善を重ねてきた中材業務内容に対し、各科ではどのように受けとめているか、アンケートを依頼しまとめてみた。

対象 病棟・外来・中央部門 44ヶ所 回収率 100%

〔受付へくる人〕

病棟 看護婦6 看護助手15 交代6

外来 看護婦11 看護助手3 交代2

- 受付へきやすい よい35
- 受付について不明の点 ない5
- トレイ類の内容について問題点 ない3
- 貸出返品についての問題点 ない10

〔要望の主なもの〕

- 朝の受付の待時間及び混雑を解消してほしい
- トレイ内容に不備なものがある

- 備品数不足と思われることがある
- トレイ内容の改善検討してほしい、リネン類、衛生材料
- 科に合ったトレイを要望する
- 滅菌物置棚が狭い、間違えないでほしい
- オートクレーブをかける時間を知りたい等があがっていた。

## 6. 問題点解決についての検討

それぞれについて検討した。まず朝の受付時間は早出職員により8時に開始して8時30分から8時45分頃がピークとなりおよそ三分の二が終り、大体9時15分頃に全部が終了する。(アンケートの中に受付を二人置いてとか、全員で対処してほしいとの申し出があり、そのような方法でやっており現在も努力している。)一科平均1分6秒と数字で表わせばこれだけでやるが、やはり気持としては待たされると思わせる。では時間短縮をはかるにはどうしたらよいだろうか。

問 題 点	解 決 策
1. 伝票の扱い <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 中材部へくる人が把握していない。</li> <li>◦ 伝票の提出日が守られない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝票は2種類               <ul style="list-style-type: none"> <li>┌ 治療器材請求票</li> <li>└ 滅菌消毒依頼票</li> </ul> </li> <li>• 次週の1週間分を月曜日朝までに提出(水～火)</li> </ul>
2. 滅菌物提出方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ カストの通気孔が開いていない。</li> <li>◦ カストの不完全なものがある。</li> <li>◦ 包装方法に不備なものがある。 オートクレーブテープ (多すぎる 不足 バット2枚重ねてある。 包布が (破れている 汚れている</li> <li>◦ ガス滅菌必要のものがオートクレーブにかかることがある。</li> <li>◦ 科名の記載がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 滅菌が完全にいくよう、又無菌維持を守れるよう努力してほしい。</li> <li>• 滅菌方法のことなるものに留意してほしい。 (ガス滅菌の時は必ず受付をとうす)</li> </ul>
3. 滅菌物品受け渡しのまちがいがある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 科名の記載がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 確認して供給する。</li> <li>• 科の増加により供給棚がせまいので内容確認をしてもっていく。 (定時でなく常時時参してもよい)</li> </ul>
4. 使用済み物品の返品について <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 期限ぎれ物品の返品がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要以外の物品請求をしないようにする。</li> <li>• 使用しなかった場合はすみやかに返品する。 安全期間 トレイの包装 1週間</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>◦トレイ内容がそろっていないことがある。</li> <li>◦伝票の記載もれがある。</li> </ul>	滅菌バック 3ヶ月 ガス滅菌 6ヶ月 <ul style="list-style-type: none"> <li>•内容一覧表により確認して返品</li> <li>•お互いに注意する。</li> </ul>
5. オートクレーブをかけるだいたいの時間を知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•特別事情のない限り2台のオートクレーブにて1時間毎8回。 (午前8時30分開始午後3時30分終了)</li> </ul>
6. トレイ内容について <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ベネゼクにガーゼ多く。</li> <li>◦一般用創口にガーゼ綿球を入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•検討する。</li> </ul>

## 7. 考 察

- 1) 特に受付業務に対しての反応を聞いたかったが、アンケート内容の焦点が希薄だったため、期待した返答が得られなかった。
- 2) 伝票の取扱いについては、全科の看護婦が把握しておく必要がある。
- 3) 滅菌物、末滅菌物の取扱いについては各種滅菌法、正しい保管法、有効期限等各自、自覚して扱う。
- 4) 貸出物品内容については、全科共通の平均したトレイを作成しているため100%の満足度には達せられない。
- 5) 請求した物品を全部ほしい点については有効期限、経済面など考え検討する必要がある。
- 6) 各科共通に業務を計画的に実施していく必要があるのではないかとと思われる。たとえば、現状では伝票に注射器、針のみの請求であるが、特殊なトレイは計画的に請求しておく。
- 7) 中材業務内容が浸透されていない。又、貸出物品についてもよく把握し充分活用する。
- 8) 中材業務内容が各科へ浸透されるよう努力する必要がある。

## 8. おわりに

中材業務は院内の基幹業務として、万全の機能が要求される。

自分達の行っている業務は、直接患者さんと対話はできないが、供給器材が適確に使用されることにより評価される。

今回の研究発表の医療用品の中にも、ディスポ製品の進出がめざましく消費時代を反映させていた。又、現代はインスタント時代ともいわれ、全ての処置を流れ作業的に片付けられる気配もあるが、人間が人間を看することは人間の手によって行われることが理想的であり、材料を作る人、運ぶ人、処置を行う人、受ける人、片付ける人、すべてそこに人の心が通じてこそ一人の患者に適確な援助ができたといえるのではないだろうか。

この結果を具体的に実行し、よろこばれる中材として向上をしていきたい。

御協力いただいた全科の方々に感謝いたします。

### 参考文献

1. 原素行 セントラルステリールサプライ 医学書院 1973.
2. 根津進 看護研究の方法とまとめ方 メジカルフレンド社 1977.

〔圖1〕

〔圖2〕

年度別注射器貸出状況 (本数)

年度別トレイ貸出状況 (個数)

